

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・保育所等訪問支援Love&Smile			
○保護者評価実施期間	令和7年12月5日		～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年12月5日		～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月5日		～	令和7年12月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5園	(回答数)	5園
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月23日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有	都度、回覧・会議などで相談と周知を行うようにしている。	訪問予定の前に、職員間で相談して何をお話しするかを決めておいたり、訪問から帰ってきた後の夕会ですぐに報告するようにしている。
2	保護者との連携	連絡帳や、送迎時に日々の話や状況の共有を図るほか、書類が事務的なやりとりのみにならないように、書類に心をこめて書いた付箋を貼り先生から聞いた良い話もお知らせしている。	面談以外でも、直接会えた時などに「これからも頑張ろう」という気持ちになれるよう励ましたり、互いに頑張る姿勢を見せていくようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	希望があった場合、迅速な対応が困難	限られた人員のため、希望に沿うことの対応が双方で困難になることがある。	翌月の訪問アポイントに関して訪問時で決めるのではなく、保護者の要望・必要性に応じて機関や回数を決定する。
2	施設との連携	課題は見えているが、保育園での難しさも理解できるため、同じスタイルでの支援が困難になることがある。	初回の訪問でわかりやすく、また説明しやすいパンフレット(資料)などを提示していく。
3			